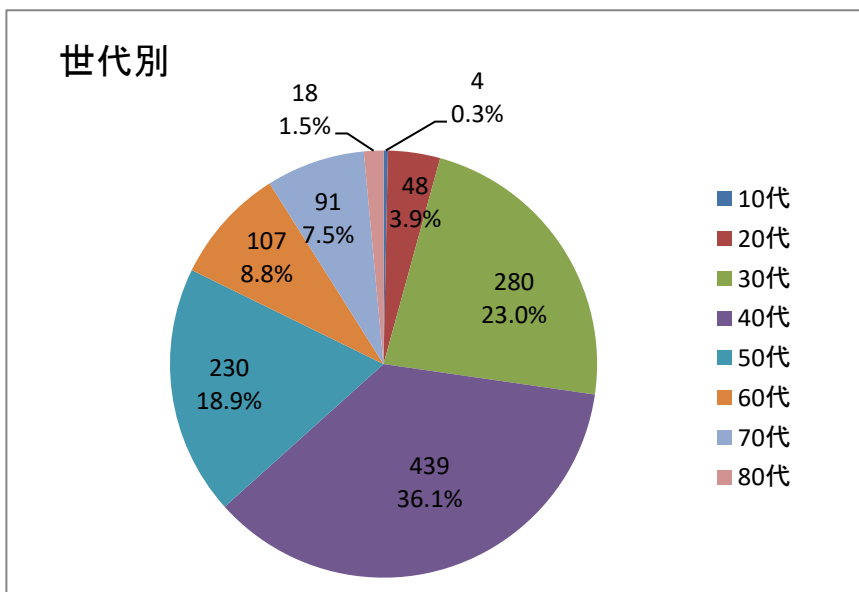
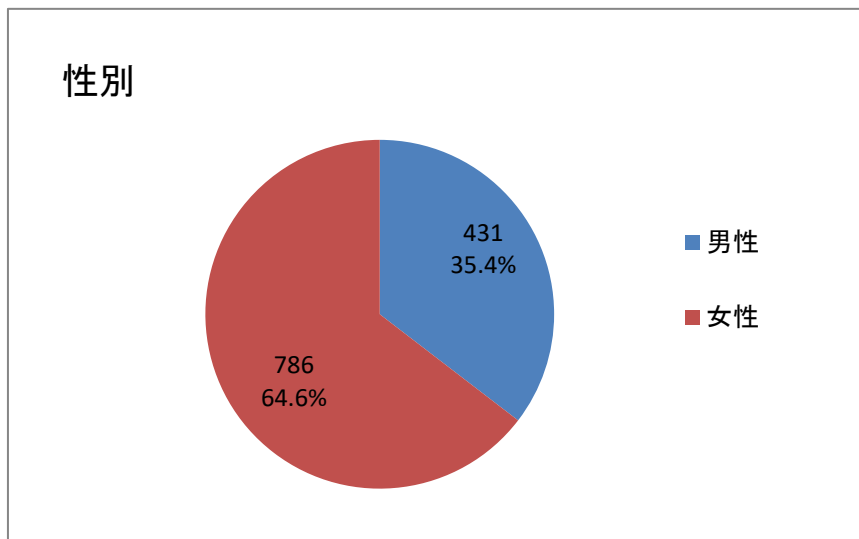


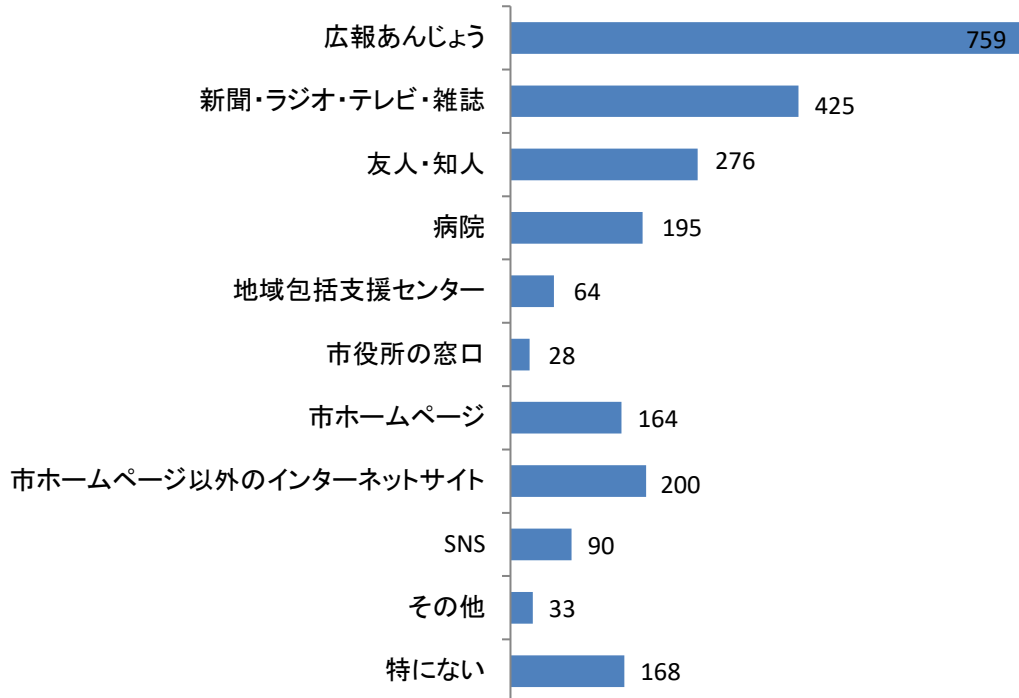
第14回eモニターアンケート「高齢者支援について」

実施期間 令和3年2月5日～2月15日
回答数 1217 人

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人



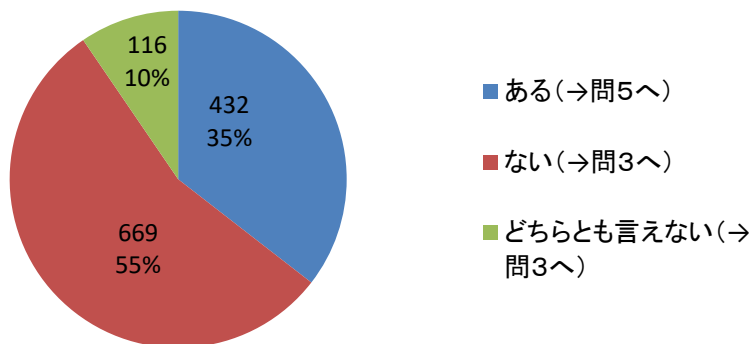
問1: 医療、介護、介護予防情報の入手先
(複数回答)



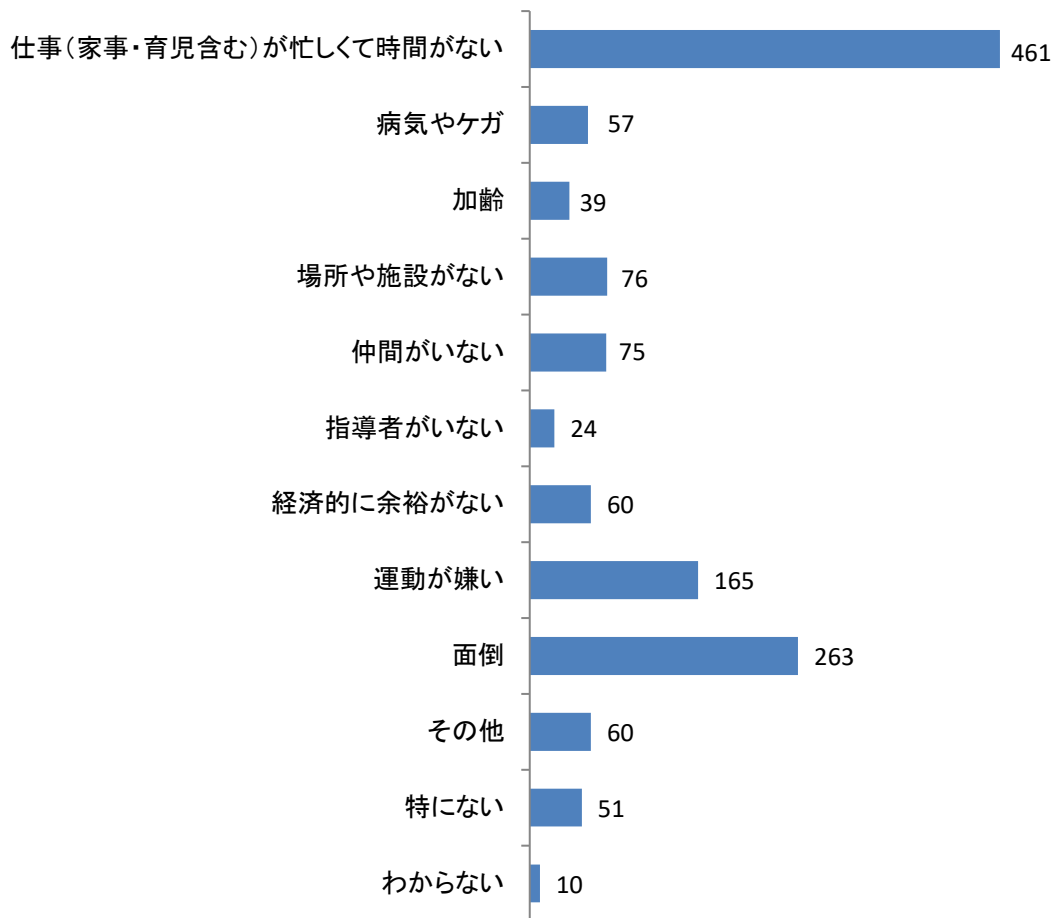
【主なその他意見】

- ・職場
- ・町内会
- ・地区の福祉センター職員から
- ・書籍
- ・町内会の敬老会
- ・保育園の掲示板
- ・町内の福祉委員会

問2: 運動習慣（1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上継続）の有無



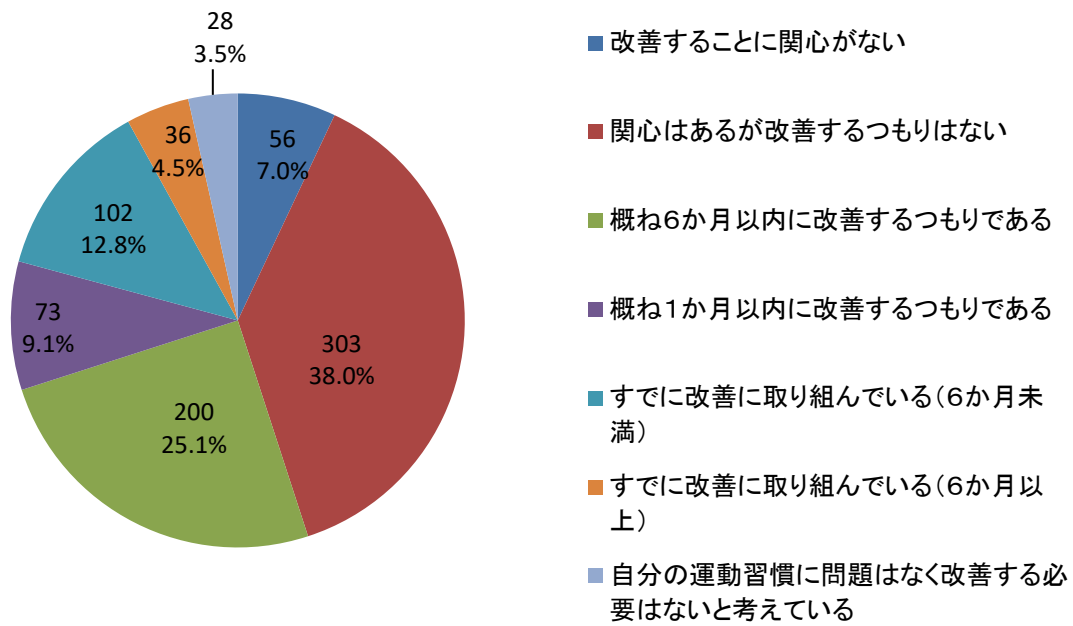
問3：運動習慣がない理由（問2で「ない」「どちらとも言えない」と回答した人・複数回答）



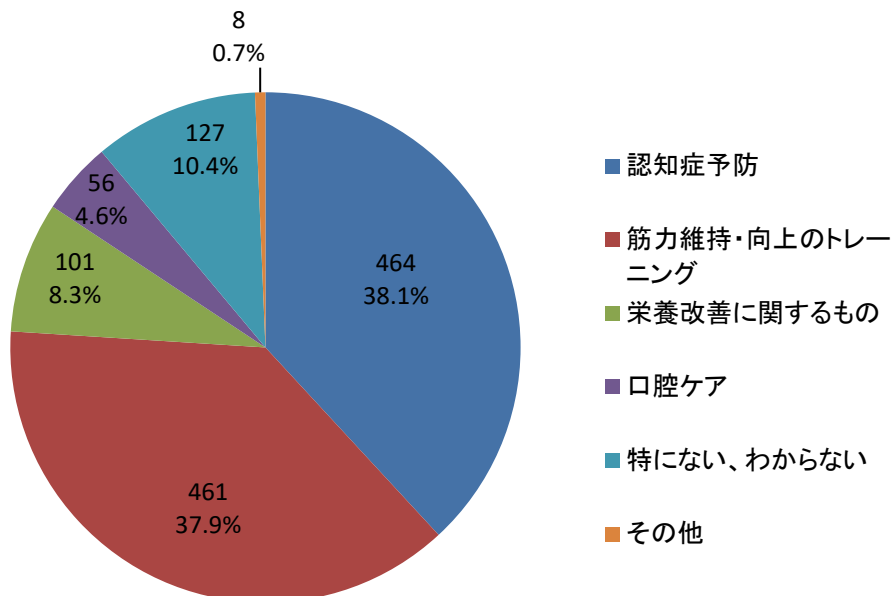
【主なその他意見】

- ・コロナのため、出掛けづらくて何をしたら良いかわからない
- ・やりたい気持ちはあるが、なかなかできない
- ・続かない
- ・定期的でなくても、身体を動かす機会が多くあるから
- ・やってみようと思うキッカケがない。
- ・意志が弱く続かない
- ・運動とは何をしたらよいかわからない
- ・まだその必要性を痛感する経験がないため
- ・30分以内の運動なら毎日

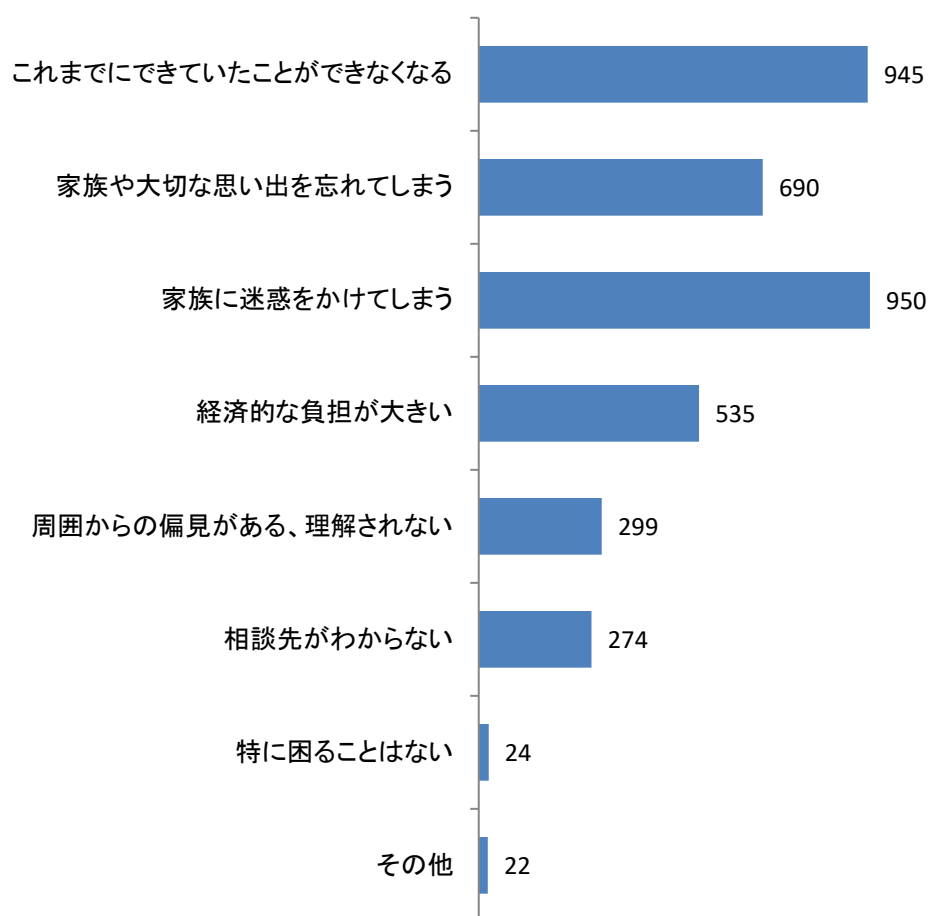
問4：運動習慣の改善について



問5：あなたや家族が一番受けたい 介護予防講座



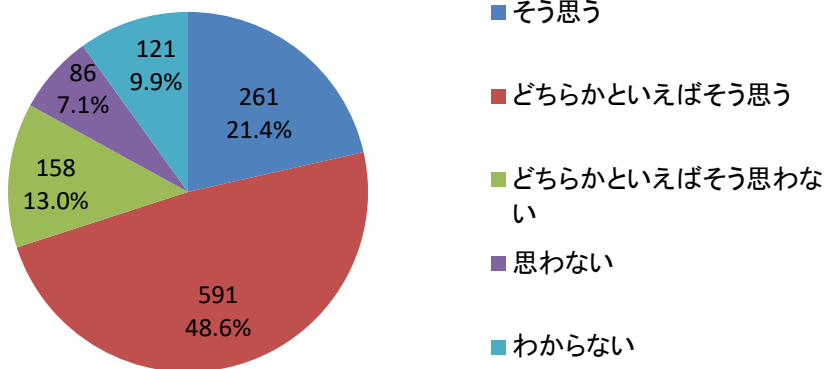
問6：認知症に対するイメージ（複数回答）



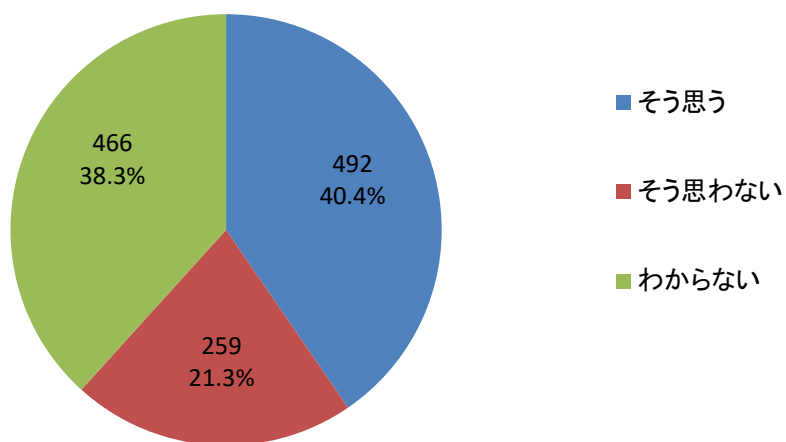
【主なその他意見】

- ・誰でもなる可能性のあるもの。
- ・生活ができなくなる
- ・家族だけでなく、(徘徊などで)社会にも迷惑をかけることになるかも。
- ・すぐに忘れるので、本人は幸せな場合もある。
- ・街ぐるみで助ける場合も必要
- ・悲しい

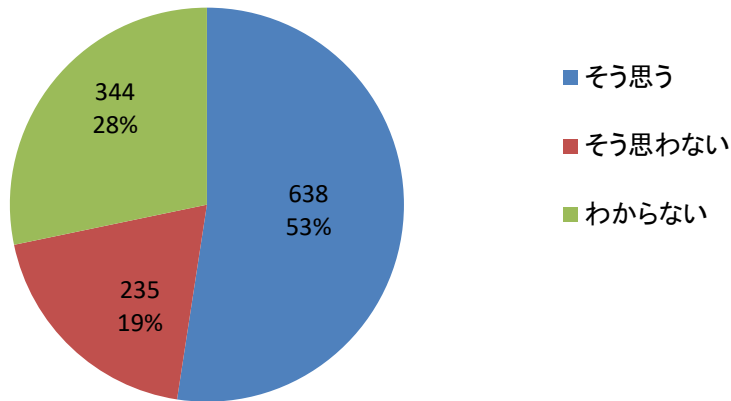
問7: 認知症の人は周囲から偏見を持たれている傾向があるか



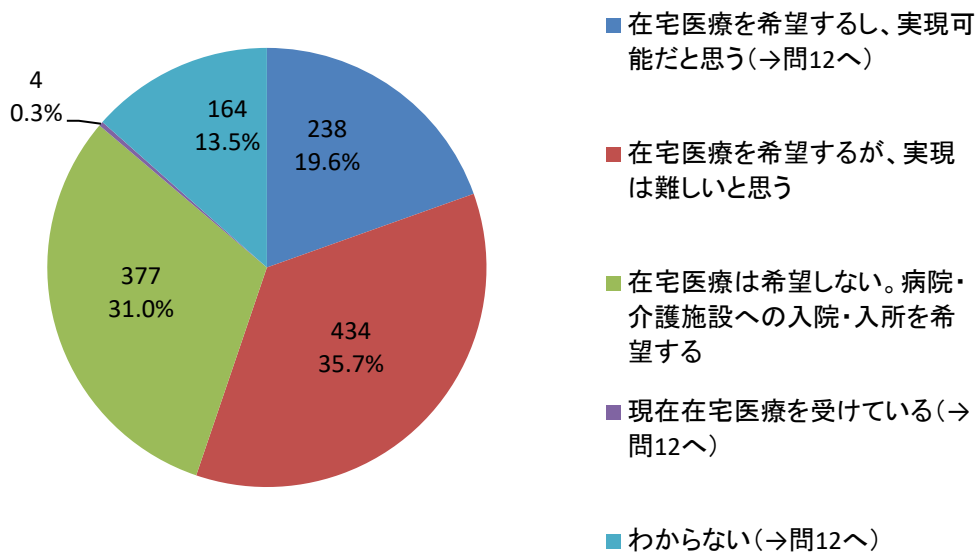
問8: 認知症になったら、近所や周りに知らせ、手助けをしてもらいたいのか



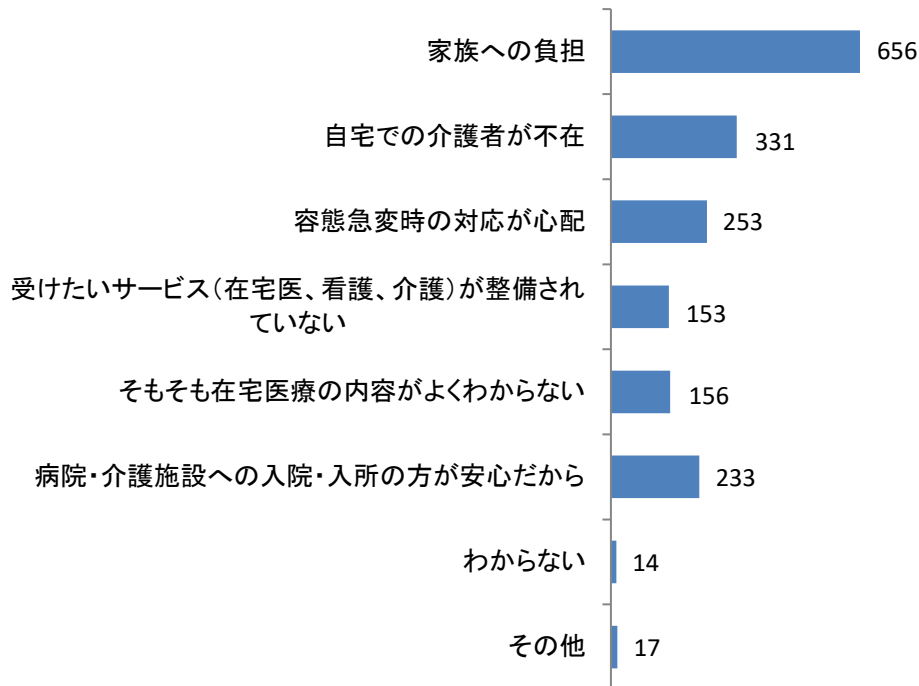
問9: 家族が認知症になったら、近所や周りに知らせ、手助けをしてもらいたいのか



問10: 高齢・認知症などの理由で通院が難しくなった時、在宅医療を希望するか



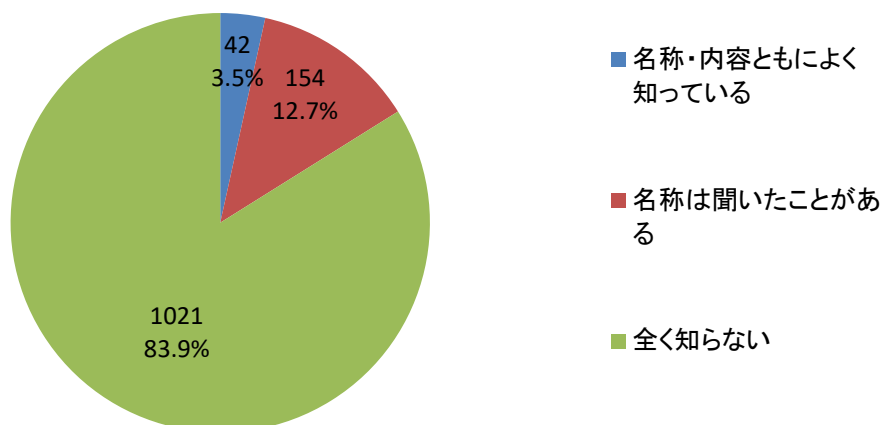
問11：在宅医療の実現は難しいと思う理由、在宅医療を望まない理由（問10で「在宅医療を希望するが実現は難しいと思う」「在宅医療は希望しない。病院・介護施設への入院・入所を希望する」と回答した人・複数回答）



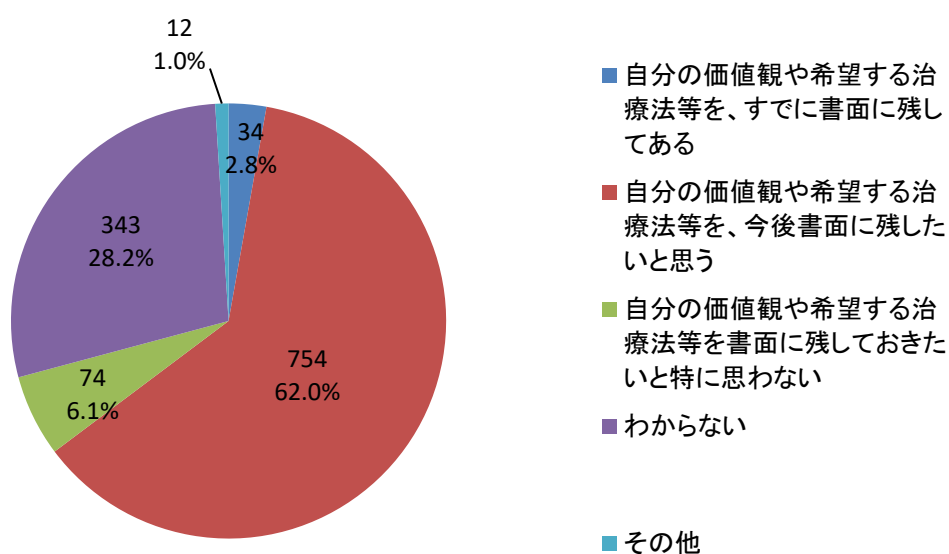
【主なその他意見】

- ・祖母が認知だった。暴言が酷く家族が病んでしまった
- ・限られた医療機関でないと受けられない治療を要する持病を持っている。
- ・同じ年齢の夫のみで子供がいないから、現実的に無理
- ・仕事と介護の両立に不安があるため
- ・介護してきたが、大変だった為
- ・金銭的負担がどの程度かかるのか分からないから
- ・家族がいない
- ・利用料金の不安
- ・結局、赤ちゃんのお世話と同じで特定の一人に重く負担がのしかかる。
- ・他人が自宅に入る事の抵抗感
- ・確実に周囲に迷惑を掛ける。
- ・期限がない負担は厳しい

問12：アドバンス・ケア・プランニング



問13：高齢により、又は認知症で意志表示できなくなった時の備えについて



【主なその他意見】

- ・書面には残さないと思うが、子供や親族と機会があるごとに話題にしていきたい
- ・常日頃からこうして欲しいと伝えておく
- ・いつかは必要だと思うがまだその時期ではないと思う

問14：市の高齢者支援についてご意見があれば自由にお書きください。（抜粋）

元気な高齢者であることが大事なので健康、運動支援の啓蒙がよいのでは。週1でモーニングやランチが無料（マイナンバーポイント決算）・家でできる運動をテレビ、ラジオ、Webで流す等。

ゲートボール等の取り組みはとてもいいと思う。人とも関わりを持てるし、軽い運動にもなる。そういう機会を沢山の人が持てれば、認知症等は少なくなるのではないのかと感じる。

健康に生活できる年齢の維持と上昇ができる、方法と指針を与えて貰えば良いと思う

高齢者が孤立しない為歩いていける範囲で会話や運動したり、人と交われる場を設けられたらと思う。元気な高齢者は働ける場があれば医療費削減にもなり若い者の手助けが出来ればもっと良い。

年齢制限のある仕事ばかりで高齢者は疎外されているので、せめて面接で確認してからにして欲しい。安城市では本人の能力を確認してほしい。

安城市も間もなく超高齢社会に突入しますので、高齢者が健康で長生きできる環境作りが急務です。栄養、体力面、医療面の連携が取れたサポート体制を構築することが重要です。

高齢者が参加しやすいサークル、講座をもっと増やすといいと思います。

もっと外に出て楽しめる場所があると人と話したり刺激を受けて毎日が充実し情報を収集できると思います

昨年母を96才で亡くした。自宅介護が困難になり特養で手厚い介護を受けたが家族としては満足のものではなかった。100%介護になる期間を如何に短くできるか、実現させる方法をみつけて実現できればと思う。

西尾市では防災放送を利用し行方不明者捜索がされている。安城市の発生状況・対応はどうか？

認知症は隠すのではなく周囲に知らせて協力をしてもらうべき。まだまだ家族で隠すことが多い。

母は九州で89歳まで一人暮らしをしていたが、認知症が進行し施設に入所し今年93歳。コロナ禍により昨年2月を最後に、施設職員と電話での連絡のみで辛い思いをしている。息子の名前も顔もわからないほど認知症が進行し、早く新型コロナウイルスの収束を願う日々です。

認知症の症例に理解が足りない。もっと実例を元にした周知活動をするべきでは？

今現在、認知症の家族と同居中ですがお互いの幸せとはどうあるべきかと考えてしまう。見る看られる側、ストレスのない居心地の良い環境の中で暮らせるようになるといいなと思う。その為にも色々力になってアドバイス支援など気軽にお願いできる場をこれまで以上にお願いします。

認知症についての情報を身近なものとしてチャート式で簡単に知りたい。どんなことが続いたらその病気を疑い、どこの誰に相談するのか？どんな支援が受けられるのか、その為の施設が市内のどこにどれだけあるのかなど、必要となる前に早めを知っておきたい。

認知症を患ったり、介護が必要になる前に、今後役立つ所とあらかじめ繋がりを持って、相談出来ると、いざと言うとき安心。その繋がった方が良い場所を知りたいです。

母の介護の際、母が叫んだり暴れたりする事を独りで受け止められなかった。誰も助けてくれなかった。ケアマネ、地域包括も助けてくれなかった。救急車で病院に行っても点滴をして家に帰るしかなく、何日もその状態でとても辛い思いをした。自分が子供達に迷惑をかける事を考えるととても不安である。

公的な援助は色々あると思うが活用されていない。認知症だと認めたくないのか本人が病院を受診したがるが、家族も積極的に働きかけないことが多い。早期に対応すれば進行を遅らせることができるのに、症状が進行してからしか行動しないのは、本人・家族にとっても大変。日頃から医療と繋がって、早期に対応できる支援があればいい。

本人がサービスを望まなくても家族が困り支援を望むなら介護を受けられるようにしてほしい。

先日認知症の方を保護した際、デイサービスに通われていることがわかり電話したところ、最寄りの警察に連れて行ってくれと言われました。コロナ禍で知らない人を車に乗せるのは正直抵抗がありますが、雨も降っていたので連れて行きました。私はどうすべきだったのでしょうか？

ネットに保存し病院等もカルテのように見られるのが理想。書き残してもいずれ一人になり見られる人が居なくなる。

書き残しておきたい。高齢者にそういう、サポート（用紙など）しても良いのでは。
自分の価値観や希望する治療法等を、書面に残した場合に税制上で優遇をする。そして、そのための制度を市内の病院と共に作成して、全国的に先駆けた取り組みをしてほしい。
誰しも自分は大丈夫だと思ってしまう。ACPも個人任せではなく自治体で機会を作って欲しい。
在宅医療をしたいが、家族の負担が大きく経済的にも無理な家庭は多いと思う
かかりつけ医との連携
ボケたり、寝たきりになった際に安楽死の選択肢が欲しい。安楽死の法整備。
問13について様式を標準化して高齢者に渡してほしい。災害時の手助けが必要かなどの各書類と一体にして関係者が見れるように。
問13について、遺言書と同様に市と医療機関が連携も含め、遺言書と類似書面作成、市文書保管などの高齢者支援の総合的システム構築することも一案かと思う。
在宅介護や看護を推し進めたいなら、訪問介護ヘルパーの処遇を改善するべきだ。
意思表示ができなくなった場合に備えるよう、迫られる、誰もが考えないといけない、と思わせられるのは辛い。暗に回りに迷惑が掛からないこととなるような選択を求められている気がする。
自分や両親、配偶者、すべての価値観や希望する治療法等を、今後書面に残す方法をレクチャーして欲しい。死後についても備えて置きたいからそこまで見越した準備を知りたい。
新しい制度や名称を使うのは良いが、それについて知っているかと問われても、内輪で言葉遊びをしているようにしか感じない
高齢者介護施設の受け入れ態勢が、現実には厳しい。市の幹部は、現状を認識して欲しい。
要介護5の夫を週末だけ在宅介護をしているが、自分が体調を崩し通院が必要になった。夫の施設入所や介護用品の費用負担が重い上に、自分の通院費まで加わった。要介護5は夜間も気が抜けず在宅介護は無理。介護度が重い人は優先的にもう少し安い費用で入所できないか。苦しい。
高齢者施設の充実と情報提供をしてほしい。現実的な値段で入居できる施設がたくさんあると安心
排泄などの介護を家族が行う場合、家族も本人も負担が大きいので介護の専門家がいる施設に入居が望ましい。そのためにも介護施設やそこで働く人への金銭的支援を増やして欲しい
入所が困難と聞くのでスムーズに入所できるようにしてほしい。必要なら直ぐ入れる施設は必要。
市の高齢者支援はどのようなものがあるか、冊子を各家庭（特に高齢家庭）に配布してほしい。
認知症対策や病院・介護施設について説明会や情報を入れてほしい。広報だけでは伝わらない。
市が積極的に高齢者支援をしていることをアピールするとともに、支援内容をしっかり開示してほしい。例えば市民だよりで、特集号を作るとか。
若いうちから将来のことを考えるようにするため、中高年向けの講習等があればよい。
必要な人が探しに行かないと情報が掴めないのではなくて、もっと情報を全面に出して欲しい。
介護者と要介護者が同じ市にいるとは限らない。市外県外の場合の方が時間的経済的負担がはるかに大きい。広く支援が受けれるようにしてほしい。
市内で高齢者が問題となった事例を公開してほしい、どういう問題が実際に起きているのかわからない。
どのような支援があるのか全く分からない、どのような支援があるのか若い年代にもアナウンスすべき、例えば小学生のころから、特別講義をしたり、公民館などの講演会など。
一度窓口に行き、相談（質問）をしたことがあるが、大変親切に伝えていただいた。この時は利用に至らなかったが、とても安心できた。
民生委員の方に月1回来てもらっただけでもうれしいです。

父が存命の頃、一人暮らしだったがほとんど支援が受けられず、市役所の窓口での対応は酷かったようだ。自分が高齢になる前にもう少し高齢者への対応が安心して生活できるようになればいい。

自分が高齢者になった時支援サービスが受けられるか漠然と心配。費用がどれくらいかなど。

高齢者が増えても家族が幸せに暮らしていける市であって欲しい。今の現状、子育てしながら介護して共働きは想像を絶する。でも、本当は子どもも親も自分も全部大事にしたい。

自分には関係ないと思っていたが気づけば親がその年齢に達してきた。いずれ自分にも選択を迫られる時は来ると思うがそのときにならないと実感は湧かない。高齢者は今の時代を築いた人たちであり尊敬されるべきである。

要介護認定であればいろいろとサービスが受けられるが、要支援ではサービス内容が限られ不自由さを感じている。高齢者が一人でも生活が出来るよう個々に応じて配慮して頂けると良い。

人間相手に多種多様な人格の持ち主であるから、画一的に取り組む（扱う）ことは人間味が欠ける支援となってしまうかもしれない。若い人よりも多様な高齢者に、高齢者支援の方法を多数立案させ、それを責任ある若い人が選別・判定して、実現するようなしくみを考案してはどうか。

日頃から節約や生活習慣を節制せず、高齢になってから経済的に苦しい・生活習慣病など自業自得。妻が亡くなると家事自炊もできずゴミ屋敷とかよく聞かすが、どこまで支援が必要なのか。

高齢者用の施設が次々にできているが、自分は1日でも長く自宅で過ごして行けたらいい。

コミュニティを密にして、お互い様の精神を築いてほしい。

気軽に支援ができるようになりたいし自分が高齢者になったら支えてもらえる市であってほしい。

超高齢社会です。老人の2人世帯が益々増加します。市だけでの対応が出来るか心配です。各町内会で組織を作り、市と連携していくことが重要。

市は支援活動を町内会に丸投げしている。担当の町内理事は仕事を休んで運営をしているのが現状。市はお金だけでなく運営をする人も出すべき。支援が必要な高齢者の身内にもっと連絡を取りアドバイス等してほしい。高齢者が多い町内会は彼らの世話、行事が多く町内会のあり方に疑問を持つ。子供支援ボランティア団体のように高齢者支援ボランティア団体を作り市に登録し町内活動時に派遣してほしい。

自分も含めて今後単身高齢者が確実に増加する。家族の支えでは対処できないことが目前に迫っており、認知症に限らず高齢者への支援検討が急務と強く思う。安城市は特に子育て支援は多く、子育ての場合は親がおり家族での対処は可能だと思うが、高齢者の場合はそうはいかない。日々の見守りなどを検討していかないと孤独死・孤立死が増加する。是非検討課題としていただきたい。

超高齢社会は安城市だけでなく、全国全ての地域に当てはまる。費用が掛かるのは問題だが公共施設のバリアフリー化等で高齢者が生活しやすい街づくりを進めてほしい。

他の市に比べて十分取り組んでいる。高齢の方ではなく未来を担う子供に投資すべきだと思う。

若手を今後中心に形成されていく新生日本。高齢や認知症をわざわざ助ける必要はない。ヒマな人がやりたいときに好きなように対応すればいい。なんでも助けられると思うなど人間のエゴだよ。

社会で支えなければならない問題。ただ、実際に自分が直面しないと共感できないとも思います。

行政からの支援は不可欠だが、自分や家族、町内としての取り組みも車の両輪と思います。これを促す啓蒙活動などの地道な市の施策が大切だと思います。

介護認定は自立度が基準になっているようで「できる」「できない」という形で判定していると感じる。認知症は理解や判断ができない場合、必ず介護人が必要となり介護度も上がると思うが、動作に不自由がないと介護度は低く見られる。会話がかみ合わない場合や記憶を保持できない部分もしっかり考慮して認定して欲しい。調査も聞き取りだけで、状況観察を考慮してほしい。介護施設は増えつつあるが低所得者（基礎年金のみ）の場合は民間施設への入所は負担が大きい。支援・援助の拡充を望みます。

<p>重度障害の家族を介護している。12年になると肉体的にも精神的にも疲れ、さらに最近怒鳴る行為が出てきて益々介護が大変さを増した。本人の意思を尊重するのは大切なことだが、デイやショートも病院も嫌がり自分のことしか考えられなくなっていく本人に家族としてどうしたらよいか。在宅介護になると家族の逃げ道がなく、長くなればなるほど追い込まれていく。仕方ないこと。</p>
<p>副業でもよいので何かあったら駆けつけられる人を多く登録し、それなりの報酬を与えて欲しい。</p>
<p>市の支援も大切だが誰がするかも大切。安城市はシルバー人材制度があるので費用も抑えつつ、70から80歳の方が80から90歳の方を介護や支援をすることは良い。年齢が近いと親しみが湧いたり、数年後の自分だと思つと現実感が増して勉強になり体力もつくと思う。介護する方が知識をつけて、自分の体調不良にいち早く気づけることが理想的。</p>
<p>高齢者の運転がマイペースでドキッとすることが多い。あんくるバスが薬局やスーパーにも停まるようにするなど、免許返納後も移動に制限かかることなく生活ができるようになるといい。</p>
<p>施設や病院にお願いしたくても金銭的に難しく結局自宅で不安を抱えながら介護する方が多いのが現実。すると家族は働けなくなり更に経済的に苦しくなり肉親であっても面倒をみるのが嫌になる、または肉親に面倒をかけたくないというパターンが増える。子供たちに迷惑をかけなくていいシステムができてほしい。</p>
<p>手厚い支援をしていただけていると思います</p>
<p>近所で高齢の母を世話する60過ぎの息子さんの家庭があり、相談先がわからず困っていたがどうか相談窓口を見つけた様子。もっと早い段階でアクセスできるような周知活動、取り組みが必要。</p>
<p>先日新聞で見ましたが、安城の老人ホームが裁判で問題になっていました。身寄りがなくとも安心して暮らせるよう市がしっかり監査してほしいです。</p>
<p>今後支える側となる家族世代への講習会を必ず参加させるなど、介護を水面下の話題としないよう市が積極的に仕掛けをしてもらえると助かる</p>
<p>他の自治体と比較しても遜色ないと思います。</p>
<p>高齢者の運転は危険だが、運転せざるを得ない人が多い。あんくるバスは近所を走っておらず病院などに行くのにタクシーを使わなければならないので、タクシー補助券があるといいと思う。</p>
<p>同居と近居では受けられる支援が違う。ハード・物理的に同居が困難で通って介護するため同居より負担が大きいのに近居では圧倒的に支援が受けられない。行政サービスは非常に不公平と思う。</p>
<p>高齢者が一人でも安心して住めるような場所があると嬉しいです。</p>
<p>現在転職を希望。高齢者支援のできる仕事があればリストを広報に載せて教えて頂きたい。</p>
<p>介護保険のペグトルが変更され、近年高齢者は自立を促されている。自立のためには、近所の協力が必要となるがマンションや共同住宅暮らしでは難しく、サービス付高齢者向け住宅などの施設に頼らざるを得なくなるが、金銭的な面で難しい場合もあると思う。そうすると家族を頼らざるを得ずこれまでと何も変わらない。高齢者はやがて減少する中で、今インフラを過度に整えることも難しい。</p>
<p>一宮市は家庭ごみを集積場所などへ自分でのごみ出しが困難な世帯を対象に、原則週1回市職員が訪問し玄関先で一声かけ安否を確認した上でごみ収集する。収集時に異常があった場合は福祉担当課などに連絡し対応するサービスがある。とても良いサービスなので安城市も検討してほしい。</p>
<p>高齢者支援より若者子育て支援を充実し、そこで得た税金等収入を高齢者支援に充てた方がいい。</p>
<p>結局なってみなければ分からないが、手厚いことにこしたことはない。今後の高齢化を考えるなら、今の複雑すぎて難しすぎる名称の支援を見直し、誰にもわかりやすい言葉で支援の名称を行い、簡単に支援が受けられる体制を構築するべき。とにかく、今の制度は難しく、利用することに対し二の足を踏ませようとする行政側の思惑が見え過ぎている。もっと優しい支援にするべき。</p>